

木村 牧絵さん (広島県呉市出身)
2018 年度 3 次隊 青年海外協力隊
派遣国：ネパール 職種：看護師
2020 年 2 月 9 日 (日) 中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

女性への理解を後押し

ネパールに派遣されて 1 年がたつ。私の配属先は、カスキ郡マチャブチャレ村役場。村役場のスタッフによる村人への母子保健教育の支援、診療所や村内を巡回しての妊婦健診、産後の母子チェック、学校での衛生指導を行っている。

最近ネパールでニュースになった、生理中の女性が隔離部屋で死亡したという事件を知っているだろうか。生理中の女性は「不浄」として隔離する風習(チャウパディ)は 2005 年に違法になったが、まだ残っているのが現状だ。

私の住む村は、ネパール第二の都市ポカラから 1 時間余りで行ける場所で、水牛農場や農家が多い。村人に尋ねると、生理の時はまだ別の部屋で過ごしていると話す人もいる。民族によるが、生理の時はキッチンに入れない、入浴する日が決まっているなどの風習がある。

ネパール人女性はよく働く。その風習も本来は、働く女性たちを人から見えないようにしてゆっくり休ませる目的もあったのではないのかと考える。しかし、今は意味のない風習だけが残っているように感じる。

昔は今のよう生理用品があまり普及しておらず、経血が落ちるなどして「不浄」と思われたのかもしれない。しかし、今は生理用品もあり、言わなければいつ生理かなんて分からない。残りの任期は村内や学校を巡回し、月経や女性の体の変化について、また性に関して正しい知識を持ってもらえるよう活動していきたい。



キャプション：
学校を巡回して手洗いの仕方を教える